

8	2	1次式と数の乗法、除法	<ul style="list-style-type: none"> 文字式と数の乗法 文字式と数の除法 	1	1	1	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字や文字を用いた式などについての基礎的な知識の習得や活用を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を見通しをもち筋道を立てて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事象の中にある数量やその関係 法則を文字を用いて表現し、一般的に考えることができる。 $a+b$、abなど、文字を用いた式は、それぞれ加法、乗法を表しているとともにそれらの結果も表しているともみることができる。 文字に値を代入することで、文字を用いた式を具体的な事象に適用して考えることができる。 文字を用いた式の計算も数の計算と同じようにみて計算の方法を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材の開発 	
9	3	関係を表す式	<ul style="list-style-type: none"> ☆練習課題 ◎等しい関係を表す式 πの導入 大小関係を表す式 ※章の復習 	1	1	1				
		16時間配当	※発展課題	2	3	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字を用いた式での表現とその意味のよみとり、文字を用いた式における乗法、除法、一次式の加法、減法ができ、合理的に操作、処理したりすることができる。 <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> 一次式や文字を用いることの意義を理解している。 				<ul style="list-style-type: none"> 事象の中にある数量やその関係 法則を文字を用いて式に表したり、式の意味をよみとったりすることができる。 文字を用いた乗法、除法の式を、約束に従って適切に表すことや、簡単な一次式の加法と減法の計算をすることができる。 文字に値を代入して、式の値を求めることができる。 <ul style="list-style-type: none"> 文字を用いることで数量やその関係・法則を一般的に表現したり、式からその意味をよみとったりすることができることを理解している。 文字を用いた式における乗法、除法の表し方や、一次式の加法、減法における項のまとめ方を理解している。 式の値の意味を理解している。
10		第3章 1次方程式					<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な事象を方程式などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 方程式とその解に関心を持ち、その必要性和意味を考えたり、様々な数を代入するなどして自分なりの方法で解を求めたりしようとしている。 等式の性質と移項及びその関係に関心を持ち、一元一次方程式を解こうとしている。 一元一次方程式を活用することに関心を持ち、問題の解決に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 練習課題 小テスト 授業観察 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数授業 質問教室 補習 机間指導 指導助言 指導方法の工夫改善(個別観察と支援) 教材の開発
11	1	1次方程式	<ul style="list-style-type: none"> 方程式と解の意味 	1	1	1	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> 方程式などについての基礎的な知識の習得や活用を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を見通しをもち筋道を立てて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象には、文字を用いると簡単な等式に表せるものがあることに気付き、文字に当てはまる数について考えることができる。 等式の性質と移項の関係について考えることができる。 等式の性質をもとに一元一次方程式の解き方を考えることができる。 具体的な事象の中の数量の関係をとらえ、一元一次方程式をつくり、その解を求めるとともに、解や解決の方法が適切であったかどうか振り返って考えることができる。 		
	2	等式の性質	<ul style="list-style-type: none"> ◎等式の性質 	1	1	1				
	3	1次方程式の解き方	<ul style="list-style-type: none"> 方程式を解く S簡単な方程式を解く S移項を使って方程式を解く S方程式を整理して解く S一般的な方程式を解く Sカッコを含む方程式を解く S小数を含む方程式を解く S分数を含む方程式を解く ☆方程式を解く練習 	1	1	0.5	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を一元一次方程式に表し、これを解いたり、合理的に操作、処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一元一次方程式をつくることことができる。 一元一次方程式に値を代入して、その数が解であるかどうか確かめることができる。 簡単な一元一次方程式を解くことができる。 一元一次方程式を解くとき、どの等式の性質が使われているのか説明することができる。 一元一次方程式をつくったり、その解を求めたりするとともに、その手順や解の適否を説明することができる。 		
	4	比例式	<ul style="list-style-type: none"> 比と比例式 	1	1	1				
12	2	方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> 代金の問題 過不足の問題 速さの問題 ※割合の問題 ※食塩水の問題 ※いろいろな問題 	2	1	1	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> 一次方程式及びその解の意味、等式の性質や文字を用いることの意義を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 一元一次方程式及びその中の文字や解の意味について理解している。 等式の性質と移項の関係を理解している。 一元一次方程式の解き方を理解している。 一元一次方程式を利用して問題を解決する手順を理解している。 		
	1	1次方程式の利用		1	1	1				
		16時間配当				2				

		◎円周率 π と円周の長さ ・円の面積 ・おうぎ形の中心角 ・おうぎ形の弧の長さ ・おうぎ形の面積 ・おうぎ形の中心角を求める ☆章の復習 ※発展課題	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1				・「作図」の方法で、角の二等分線、円の接線などを作図することができる。 ・「作図」の手順を説明することができる。			
8	第6章 空間図形 1 空間図形 1 いろいろな立体	・いろいろな立体 ◎正多面体を作ろう ・角柱と角錐 ・円と円柱	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1			・線対称や点対称などの平面図形についての性質や関係、基本的な図形の作図や図形の計量の仕方などを理解している。	・線対称や点対称の意味及び対称な図形の性質を理解している。 ・線対称の軸や点対称の中心の意味を理解している ・測定に頼らずに図形をかく「作図」の意味と方法を理解している。 ・角の二等分線などの「作図」の方法を理解している。 ・円の半径と接線との関係、弧や弦の意味を理解している。		
9	2 空間における平面と直線	・直線の位置関係 ☆直線の位置関係の確認 ・距離	1 1 1	1 1 1	1 1 1			・様々な事象を空間図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心をもち、意欲的に数学の問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする態度を身に付けている。	・空間における直線や平面に関心をもち、それらの位置関係について考えようとしている。 ・空間図形の構成に関心をもち、直線や平面図形の運動によって、どの空間図形が構成されるかを考えようとしている。 ・見取図、展開図、投影図に関心をもち、それらを用いて空間図形を表したり、読み取ったりしようとしている。 ・扇形の弧の長さや面積や、柱体、錐体、球の表面積と体積に関心をもち、その求め方を考えようとしている。	・定期考査 ・練習課題 ・小テスト ・授業観察	
10	3 立体のいろいろな見方	・面を動かしてできる立体 ・線を動かしてできる立体 ・立体の投影図	1 1 1	1 1 1	1 1 1					・指導助言	
11	2 立体の表面積と体積 1 立体の表面積	◎なぞの立体の正体 ・柱体の表面積 ・錐体の表面積 ・角錐、円錐の表面積	1 1 1	1 1 1	0.5 0.5 1			②	・空間図形についての基礎的な知識の習得や活用を通して、直線や平面図形の運動によって構成されているものととらえたりするなど、図形に対する直観的な見方や考え方を身に付け、筋道を立てて考えることができる。	・空間における直線と直線、直線と平面、平面と平面の位置関係について、見通しをもち、観察、操作や実験を通して、考えることができる。 ・柱体・錐体などの空間図形が直線や平面図形の運動によって構成されているとみることができる。 ・空間図形の性質を見取図や展開図を目的に応じて用いて調べ、空間図形を平面図形に帰着させて考えることができる。 ・おうぎ形の弧の長さや面積の求め方を、中心角の大きさとの関係に注目して考えることができる。 ・観察、操作や実験を通して、柱体・錐体の表面積の求め方を考えることができる。	・指導方法の工夫改善 (個別観察と支援) ・教材の開発
12	3 球の表面積と体積	・球の表面積 ・球の体積 ☆計量問題の練習 ※いろいろな立体の表面積、体積	1 1 1	1 1 1	1 1 1						
		20時間配当		1	3			③	・空間図形などの図形を見取図、展開図によって適切に表現したり、空間図形を直線や平面図形の運動によってとらえ、操作や実験を適切に行い、基本的な図形の計量を行ったりできる。	・立体模型などを用いて、空間における直線や平面の位置関係には、どんな場合があるか説明することができる。 ・直線や平面図形の運動による柱体・錐体などの空間図形の構成の仕方を、言葉や図などを用いて説明することができる。 ・見取図や展開図を用いて空間図形を表したり、見取図や展開図から空間図形やその性質をよみとったりすることができる。 ・おうぎ形の弧の長さや面積や柱体・錐体の表面積と体積を求めたり、その求め方を説明したりすることができる。	
								④	・空間における直線や平面の位置関係及び基本的な図形の性質や図形の計量の仕方などを理解している。	・空間における直線や平面の位置関係を分類することができる。 ・柱体・錐体などの空間図形は、直線や平面図形の運動によって、立体が構成されることを理解している。 ・回転体の意味を理解している。 ・見取図と展開図の意味や役割を理解している。 ・円周率を記号「 π 」と表すことの意味を理	

									解している。 ・柱体・錐体の表面積（底面積、側面積）と体積の意味やその求め方を理解している。			
1	第7章 資料の整理とその活用 1 資料の整理とその活用 1 度数の分布	・度数分布表を作る ・ヒストグラムを作る ・度数折れ線を作る ◎資料を比べてみよう①	1	1	1	1	1	1	・目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いるなどして度数分布表やヒストグラムを作ったり代表値を求めたりすることに関心をもつとともにヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえて説明しようとする態度を身に付けている。	・問題を解決するため、度数分布表やヒストグラム、相対度数などを用いて、資料を整理しようとしている。 ・問題を解決するため、代表値などを求めようとしている。 ・課題を解決するために、ヒストグラムや代表値を用いて、整理しようとしている。	・定期考査 ・練習課題 ・小テスト ・授業観察	・少人数授業 ・質問教室 ・補習 ・机間指導 ・指導助言
2	2 資料の比較 3 資料の代表値	・相対度数 ・代表値、平均値 ・階級と階級値 ・中央値 ・最頻値	1	1	1	1	1	1	② ・目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いるなどして度数分布表やヒストグラムを作ったり代表値を求めたりするとともにヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえて説明することができる。	・問題を解決するため、度数分布表やヒストグラム、相対度数などを用いて、資料の傾向を読み取り説明することができる。 ・問題を解決するために、代表値などを用いて、資料の傾向をとらえて説明することができる。 ・有効数字を使って表すと、どこまでが意味ある数字かが分かるという良さを考えることができる。 ・資料を整理して傾向をとらえ、ヒストグラムや代表値などを用いて、説明することができる。	・指導方法の工夫改善（個別観察と支援）	・教材の開発
3	4 近似値と有効数字 5 資料の活用 1 8時間配当	◎資料を比べてみよう② ・真の値と誤差 ・有効数字 ※自分で調べて発表しよう ☆章の復習 ※発展課題	1	1	1	1	1	1				
									③ ・目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いるなどして度数分布表やヒストグラムを作ったり代表値を求めたりすることができる。	・問題を解決するため、度数分布表やヒストグラム、相対度数などを用いて、資料を整理することができる。 ・問題を解決するため、代表値などを求めることができる。 ・ある数値を有効数字を使って表すことができる。 ・課題を解決するために、ヒストグラムや代表値を用いて、整理することができる。		
									④ ・資料を整理する方法や代表値、数量の表現方法などを理解している。	・度数分布表やヒストグラム、相対度数などの必要性と意味を理解している。 ・代表値などの必要性と意味を理解している。 ・有効数字や近似値、誤差の意味を理解している。 ・課題を解決するために、ヒストグラムや代表値、相対度数などをどのように用いればよいかを理解している。		
	全体総合演習 2時間配当	・基礎的基本的な事項の確認 ・総合演習 ※発展的な課題学習	2			2					・練習課題 ・授業観察	・少人数授業 ・机間指導 ・指導助言 ・教材の開発
	ぐんぐんのばそうチャレンジ編 1時間配当	・中2で学習する内容の紹介	1	1	1				② ・中1数学との関係を明確に発展的な学習内容を紹介する。	・課題例 二元一次方程式の解 一次関数と比例の違い		・教材の開発 ・指導方法の工夫改善

年間	各章共通	各内容共通	/	/	/	1	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな事象を数量や図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考えることに興味をもち、意欲的に問題の解決に活用しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に積極的に取り組み、数学を活用し授業では発言や質問ができる。 ・能力に合わせてノートを作成し提出することができる。 ・練習課題に取り組み自己の課題を確認することができる。 ・基礎徹底80に取り組み自己の課題を確認することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・机間指導 ・ノート提出 ・課題提出 ・ファイル提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導助言 ・個別指導 ・未提出物連絡